



2014年 今年もワクワク、ドキドキが止まらない アバンが熱い!!

まずは、特別企画・リベンジアバンカップ!



みんな意外に緊張しています!



アバンミニ知識 定番の「アバン体操」

これは、動作そのものよりも、練習の前に毎回同じことを行うことがポイントです。やる気のスイッチを入れる儀式のようなもの。声を出し、みんなと動きと呼吸を合わせることで「やる気、集中力」が呼び起こされます。一体感も生まれます。一流選手もよく行うやり方です。ということで「アバン体操」にもしっかりとした意味があります。これからも元氣良く取り組みましょう!

★5～6年生の部優勝★3～4年生の部優勝★幼児～2年生の部優勝



次は、本番、第27回アバンカップ! みんな来てね!

2013年秋のアバンカップが、連休の祝日開催ということもあり、帰省していたり、選手コースの新人チームが大会に参加し不在だったり、加えて、前日から当日の朝にかけての雨も影響してか、いつもより欠席者が多かったです。そこで急ぎよ企画した今回の「第1回リベンジアバンカップ」です。たくさんの参加者が集まり、大盛況でした。やっぱりみんな大会のお祭り感が好きなんです。ただ、本番は春のアバンカップです!

ワクワク企画! 現在、3月1日(土)2日(日)開催を予定しています。6年生最後のアバンカップ! ぜひ参加して下さい!

本番に向けてのアバン感謝祭! ミニアバンカップ!



アバン感謝祭と銘打ち、「ミニアバンカップ」を開催! 月末の最後の週をその試合の日にあてました。今回は特別に、クラブ会員の皆様へ、日頃の感謝の気持ちをこめ、プレゼントを用意しています。大したものではありませんが、コーチ達の想いがつまっていきます。今年のコーチ達のテーマは「感謝の気持ち」親子共に、一番の喜びは「みんなの笑顔」です! そのためたくさんのチャレンジをしていきます!



参加賞・製作責任者 アバン山形のコーチ、園井俊輔(くにいしゅんすけ)コーチ! みんなの喜ぶ顔を見たくて、一生懸命作りました。

★アバンカップらしく、賞状、メダル(缶バッチ)も用意しました! 手作りの参加賞もあります! お楽しみに!

好きな言葉は、
魂

あばん かわらばん
沼澤尚士
2014年 2月号

アバンツァーレジュニアサッカークラブ会報誌

インタビュー!

今月の題字を書してくれたのは、名取会場4年生:沼澤なおと君
■サッカーをはじめたのは? 「幼稚園の年長」
■得意なプレーは? 「ドリブル。フェイントで切りこんでいくプレー」
■将来の目標は? 「日本代表」「そのために朝の自主練習を毎日続けていく」
■親御さんへのメッセージ! 「今まで育ててくれてありがとう! サッカーを頑張りますので応援よろしくお願いします」



好きな言葉は、

勇氣

インタビュー!

おまけのインタビュー第2弾! 名取会場4年生:鈴木りくと君
■アバンに入ったのは? 「小学校3年生の3月」
■サッカー以外ではまっていることは? 「サッカー以外に興味はない」
■得意なプレーは? 「ドリブル、フェイント、シザーズ」
■将来の目標は? 「世界に通用する選手」
■アバンに入って良かったことは? 「いろんな技を教わった」「あいさつ、礼儀ができるようになった」
■尊敬する選手は? 「5年生の高田まさき君。シュートカがすごい」
■親御さんへのメッセージ! 「送迎をいつもありがとう。生んでくれてありがとう。おべんとうをありがとう。おいなりさんが好きです」



2014年、サッカーノートを書こう!



コーチも皆さんのサッカーノートを読むのを楽しみにしています!

「サッカーノート」と言えば、横浜マリノスの中村選手、ACミランの本田選手が取り組んでいることで有名です。なでしこJAPANの永里選手は自身のブログでこう語っています。「私も毎日サッカーノートを書いています。このノートは、弱い自分から逃げないためのノートになって最近では思う。どんな時でも自分と向き合う。サッカーに限らず、気づいたこと、考えたこと、感じたことをとにかく書く」

コーチのワンポイントアドバイス!

一番大切なことは、どんな内容でも、簡単なものでもいいので「自主的であること」「続けること」です。親御さんも無理に子どもにやらせることのないように気をつけましょう。逆効果になる場合もあります。
★サッカーノートを書くポイント(情報サイト「サカイク」参照)
1 イラストを入れる
イメージトレーニングになります。線は不器用でもOK!
2 擬音を入れる
感覚的なことも表現すること。「ドン」というシュート、「パシツ」というキック、「ト・トン」というボールタッチ、など。
3 自分に正直に書く
サッカーノートは自分の成長のために書くもの。「みせるため」に思ってもいいことを書いても意味がありません。

くアバンのある子のサッカーノート>

〇月〇日の練習試合
この練習試合の対戦相手は、アバン山形、5年の新人チームでした。その中で、5年の新人チームとやった時、ぼくは、まだまだレベルが低いと思いました。なぜなら、ボールをパスするとき、まよってすぐ相手にとられてしまいました。今のレベルは5年生の新人チーム以下だと思いました。でも、こんなことではあきらめたくはないです。ぼくの夢は、サッカー選手になることなので、まだまだ道は遠いけれど、あきらめないでがんばっていきたくたいです。前のスクールで「コーチは忘れていると思いますが」左足もチャレンジして、うまくなったな」と言われたのを覚えています。でも、この言葉で満足してはいられません。中学でジュニアユースでも、コーチに本当の意味で「うまくなったな」といってほしいです。ジュニアユースに入ったら、コーチを感動させるくらいうまくなりたいです。

2014年はサッカー祭り!

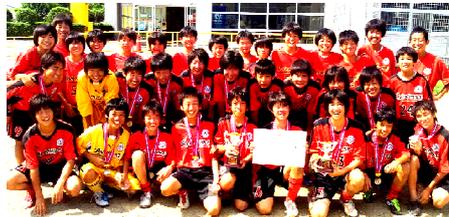
★ジュニア年代は変革の年!

2015年度から、ジュニアの全国少年サッカー大会は冬開催となります。それに伴い、年間のリーグ戦が整備されます。(リーグ戦の上位が県大会に出場できるようになるはずですが)2014年から更にリーグ戦が活発になるでしょう。ゆくゆくは世界のサッカーやJリーグのようにリーグ戦の王者こそが真の王者となり、「昇格」「降格」争いが熾烈になる時代がきます。



★ジュニアユースは勝負の年!

ジュニアユースは一足先に熾烈なリーグ戦を戦っています。来年は県1部リーグ参戦!1年生もレベルの高い東北リーグに参加しています。



2014年2月5日(水)~ ついにオープン! アバン専用・屋内練習場

昨年度10月からの、アバンの練習会場だった「愛島野フットサルクラブ」の閉鎖から、4カ月が経ちました。そして、ついにこの度、アバンツァーレの専用コートがオープンします。手造りの小さな練習場ですが、クラブ専用コート、室内コート、人工芝ということもあり、多くの利点があります。コーチ達の手作りのコートです。期待が高すぎると困りますが(^o^)> 大切に、そして思いっきりサッカーを楽しんで下さい!



人工芝は、みんなの思い出がつまった、あの「愛島野」の人工芝です! コーチ達の手で復活です!

アバン山形、福島スタッフも勢ぞろい!



地道な作業も多かったです。

子ども達の安全面には 気を使いました!



人工芝の大移動!

細かい作業も...

佐藤さんのアバン事務局通信

皆さん、こんにちは。事務局の佐藤です。私ごとながら、先日誕生日を迎えました。毎年このことですが、妻が手作りでパースデーケーキを作ってくれました。ただ、あいにく今年は誕生日当日に妻の体調が悪く、お祝いムードという感じではありませんでした。それでも体調が悪い中、ケーキを作ってくれた妻には本当に感謝です。娘も手紙を書いてくれましたし、いくつになっても誕生日を祝ってもらうのはうれしいものです。ひとつ歳をとりましたが、これからも元気に頑張ります!



かわらばんのついでに
あばん
裏
ばん